

第 78 号



2025 年度 秋号

土木技術者女性の会 とは

<団体名>

一般社団法人 土木技術者女性の会

The Society of Women Civil Engineers

<会の生い立ち>

土木学会誌(1982年9月号)に掲載された「女性土木技術者の座談会」がきっかけで1983年1月に発足しました。座談会の席で、「日本各地で孤軍奮闘している女性の土木技術者が情報交換できるような会を…」ということになり、同誌で呼びかけ、約30名でスタートしました。

創立以来、任意団体として活動してまいりましたが、2013年11月18日(土木の日)に一般社団法人土木技術者女性の会として新たに発足しました。

<会の目的>

土木学会誌の座談会をきっかけにしていますが、女性土木技術者特有の問題をきめ細かく取り上げ対応していくために、独立した団体として活動しています。

女性技術者の質の向上と活動しやすい環境作りのために、次のような目的を掲げています。

1. 土木界で働く女性技術者同士のはげましあい
2. 土木界で働く女性技術者の知識向上
3. 女性にとって魅力のある、働きやすい土木界の環境作り
4. 女性土木技術者の社会的評価の向上
5. 土木技術者を目指す女性へのアドバイス

<倫理規定>

当会では次のような倫理規定を定めています。

会員は、会の目的を実現する際にあたって、下記の倫理規定を遵守するものとする。

1. 会員は、会の目的に沿って、各々の良識のもとに、正しく品位ある行動をする
2. 会員は、所属組織を代表するものではなく個人の立場で会の活動に参加する
3. 会員は、会の活動において、業務上の利益に結びつけるいかなる行動も行わない

<会誌「輪(りん)」について>

1983年に開催された第1回総会にて、会誌の名前についても話し合いが行われています。

「輪」の文字は、「友達の輪」という発想より早々に決まりました。

そして、「りん」という言葉の響きの心地よさと会員同士のつながりを大事にしたい
という思いを込めて名付けられました。

(1983年 第一回総会議事録・参加者証言抜粋)

目 次

- 01 巻頭言：後藤佳子 ～ ほどほどに頑張る！ ～
- 02 特集★一般社団法人 土木技術者女性の会
第 13 回総会および総会関連行事 開催報告
 - 03 | 第 13 回総会
 - 05 | 現場見学会「品川駅関連プロジェクト」
 - 07 | オプションツアー「TAKANAWA GATEWAY CITY」お散歩ツアー
 - 08 | 意見交換会
 - | ランチ会
 - 09 | 参加者の感想
- 17 新任運営委員の紹介
- 19 運営委員 退任によせて
- 21 一般社団法人 土木技術者女性の会 組織図 2025
- 22 ★祝★天野玲子顧問「土木学会名誉会員」の称号を授与されました
- 24 【“見える化”土木技術者女性の会 第 3 弾:ワーキンググループ】
CE 改編ワーキング はじめました！

- メディア掲載
- サポーターおよび新規会員募集
- 寄附制度のご案内
- 編集後記

ほどほどに頑張る！

事務局長 後藤佳子

2024 年度総会から事務局長を務めております後藤です。みなさまに助けいただきながら、何とか事務局長をこなしております。

今年度の総会はいかがでしたでしょうか。私としては、事務局長として対応する初めての総会となり、試行錯誤の連続でした。終わってみると、こうしておけば良かったという反省が多々あったので、次年度に活かしていきたいと思っています。参加された方におかれましては、楽しんでいただけましたら、幸いです。

さて、昨年度は事務局長を拝命すること以外に大きなライフイベントがありました。それは、育児休業からの復職です。復職前は、「まあ、何とかかなるだろう」と考えていたのですが、甘かったです。甘過ぎました。計画的というよりは、直感的に行動するタイプの人間なので、「もっとしっかり考えて行動しないといつも反省しているでしょ!」とあの時の自分に言いたいです。と言っても、育児は想定外の連続なので難しいですね。

復職をして気付いたことが2つあります。

①→時間が圧倒的に足りない

分身できないかと考えるくらい時間が足りないです。そのしわ寄せは睡眠時間にやってきました。毎日睡魔との闘いです。

②→仕事に使える脳内メモリが少なくなった

体感としては、家事・育児と仕事に使われる脳内メモリの割合が、出産前は家事・育児：仕事＝2：8 だったのに対し、出産後は家事・育児：仕事＝8：2 になりました。

そのため、子どもと一緒に寝落ちして、洗い物をしていなかったり、タスクを忘れて上司から指摘があったりと、日々、理想と現実の圧倒的な差に打ちひしがれています。YouTube に投稿しているワーキングマザーは、どうやっているのか毎日不思議に感じています。

そして、今更ながら、私は、家事も育児も仕事もバリバリこなすことはできないタイプだと実感いたしました。そこからは、年の功なのか、これまでの社会人生活で身に付いた「図太さ」が発揮されたのか、「スーパーウーマンなことにはできない!!」と開き直すことにしました。できないことはできないので、以下のように対策しました。

①→時間が足りないときは、

- ・家族にやってもらう
- ・食事はレトルト（うちの子どもは私のご飯より幼児食用レトルトの方が食べます）
- ・家事はルンバや食洗機、外注に任せる

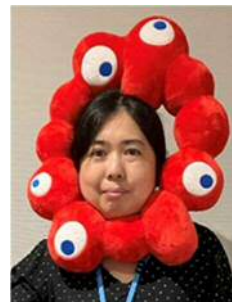
②→脳内メモリ不足の対策として、

- ・アプリを利用してタスク管理→リマインド
- ・週間 ToDo リストの作成

これらの対策を行いながら、やることをただ毎日こなしていく日々を過ごしていました。そんな状態で1年半も経過し、気付くと何とかなっていました。日々の積み重ねはすごいですね。

スーパーウーマンになれないと思った頃から、よく思い浮かべるようになった言葉があります。それは、「ほどほどに頑張る」です。つつい頑張りすぎてしまう癖があるので、頑張らなければ! と思った時ほど、「頑張りすぎずに、いい感じに頑張ろう。まあ、あとは何とかかなる!」と考えるようにしています。

皆さん、ほどほどに頑張りましょう!!



一般社団法人 土木技術者女性の会

第13回通常総会および総会関連行事

開 催 報 告

開催担当：東日本支部

日程：2025年6月27日（金）～28日（土）

第13回通常総会

日時：2025年6月28日（土） 10:30～12:00

場所：きゅりあん（東京都品川区立総合区民会館）6階 大会議室

総会関連行事

現場見学会「品川駅関連プロジェクト」

日時：2025年6月27日（金） 14:00～16:00

場所：品川駅周辺

- ① 品川駅北口改良
- ② 品川駅北口広場整備
- ③ 環状第4号線新設
- ④ 京急ハツ山こ線々路橋架け替え

オプションツアー「TAKANAWA GATEWAY CITY」お散歩ツアー

日時：2025年6月27日（金） 17:00～18:30

場所：TAKANAWA GATEWAY CITY

意見交換会

日時：2025年6月27日（金） 19:00～21:00

場所：アウトバックステーキハウス（品川高輪店）

ランチ会

日時：2025年6月28日（土） 12:00～13:00

場所：きゅりあん（品川区立総合区民会館）6階 大会議室

報告者：前田明日香（東日本支部）

一般社団法人 土木技術者女性の会 第13回 通常総会報告

日時：2025年6月28日（土） 10:30～12:00

場所：きゅりあん（品川区立総合区民会館）6階 大会議室

出席：61名、電磁的議決権行使121名

合計182名（議決権のある会員数の10分の1以上であるため成立）

（一社）土木技術者女性の会 第13回通常総会が2025年6月28日（土）に東京で行われました。会場の参加者とオンラインによる傍聴参加者を結んだハイブリッド形式で行い、全国の会員が多数参加しました。

はじめに、南朋恵会長より、2023年から採用しているハイブリッド形式では事前に議決権を行使することで会員の意思表示がしやすくなったことに触れ、今後もこの方式を続け多くの会員が参加できる総会を目指す考えを示されました。また、7名の理事のうち4名が退任し新体制を迎えること、そして50周年に向けた活動を進める旨を述べられました。



【南会長からのあいさつ】

その後、選出された議長からの総会成立の宣言があり、本総会の議案が出席者（電磁的議決権行使者および委任状提出者の議決権を含む）過半数の賛成で成立する普通決議である旨の説明があったのち、議案審議に入りました。審議報告内容については議事次第のとおりです。議案審議終了には、



【総会の様子】

各支部長並びに輪編集長、CE改編WGグループリーダーからのあいさつと2025年度の活動についての計画が紹介されました。また本総会で監事を退任する佐藤さん、支部長を退任される中田さん、新たに監事に就任した柏倉さん、新たに支部長に就任した沼田さんからそれぞれあいさつがありました。

最後に、土木学会名誉会長の称号を授与された天野玲子さんに、有志による花束贈呈を行いました。



【花束贈呈の様子】

■議事次第

開会

I.はじめに

- 1.会長あいさつ（南朋恵）
- 2.議長選出（東日本支部 笹岡里衣）
- 3.総会成立の宣言

II.報告事項

- 第1号報告 2024年度事業報告および計算書類報告
- 第2号報告 2024年度監査報告

III.議案審議

- 第1号議案 監事選任
- 第2号議案 2024年度計算書類の承認
- 第3号議案 2025年度事業計画（案）
- 第4号議案 2025年度収支予算（案）

IV.報告事項

- 第3号報告 CEへの扉 改編ワーキンググループの設置
- 第4号報告 運営委員の任命
- 第5号報告 顧問の選任

次回・次々回総会開催の担当支部

- 回りの総会（2026年度）：中部支部
- 次々回の総会（2027年度）：西日本支部

閉会

- ※総会の議事録は、当会ウェブサイト
<会員ページ>に掲載しています。



【会場にて記念撮影】

現場見学会「品川駅関連プロジェクト」

日時：2025 年 6 月 27 日（金） 14：00～16：00

場所：品川駅周辺

- ① 品川駅北口改良
- ② 品川駅北口広場整備
- ③ 環状第 4 号線新設
- ④ 京急ハツ山こ線々路橋架け替え

出席：正会員 45 名

総会前日に開催された現場見学会に全国から集結した会員は、JR 高輪ゲートウェイ駅南改札口に集合し、JR 東日本東京建設 PMO（プロジェクトマネジメントオフィス）品川 PJC（プロジェクトセンター）のみなさま先導のもと、現場へと向かいました。

まずは現場内の会議室で工事概要を説明していただきました。

JR 品川駅周辺でのさまざまな基盤整備事業が行われており、新しいまちづくりの展望を知るとともに、大規模ターミナルにおける鉄道工事の技術への理解を深めました。

全ての工事完了までは今後 10 年以上かかる大規模プロジェクトであることや、作業内容によっては京急線や JR 線の終電から始発までの短い間で作業を行わなくてはいけ

ないなど、さまざまな話をお聞きしました。説明の後は 2 班に分かれて 4 か所をそれぞれ見学しました。



【全国から集結する参加者】

見学内容

①品川駅北口改良（事業者・施行：JR 東日本）

駅周辺で展開される基盤整備・ビル開発等に併せた、JR 品川駅北口コンコースの再整備をはじめとする駅改良工事。

②品川駅北口広場整備（施行者：UR 都市機構、受託施行：JR 東日本）

新設される品川駅北口と TGC をつなぐ線路上空部における人工地盤架設をはじめとする新たな広場整備。

③環状第 4 号線新設（事業者：東京都、受託施行：JR 東日本）

都の広域道路ネットワークの骨格を形成する環状第 4 号線整備事業の一部。品川地区の開発への対応とともに羽田空港・臨海部・六本木方面とのアクセス向上が期待される道路。JR 線 19 線および東海道新幹線の上空を横断する鋼床版箱桁（幅員最大 26m・延長 309m）の送り出し工法による架設を推進中。

④京急ハツ山こ線々路橋架け替え（事業主体：東京都、受託施行：JR 東日本）

京急本線泉岳寺駅～新馬場駅間 1.7km にて推進される連続立体交差事業の一部。JR8 線および東海道新幹線を横断する新設鋼トラス桁（幅員約 13m・延長約 100m）の送り出し工法による架設を推進中。



【品川駅北口広場整備にて記念撮影】

オプションツアー

「TAKANAWA GATEWAY CITY」お散歩ツアー

日時：2025年6月27日（金） 17:00～18:30

場所：TAKANAWA GATEWAY CITY

出席：正会員 46 名

現場見学会の後は 3 月 27 日にまちびらきを迎えた新しい街「TAKANAWA GATEWAY CITY（以下 TGC）」を参加者と一緒に街歩きしました。まずは「えきまち Lab」で街の模型を眺めながらまちづくり概要や開発経緯などの説明を聞きました。

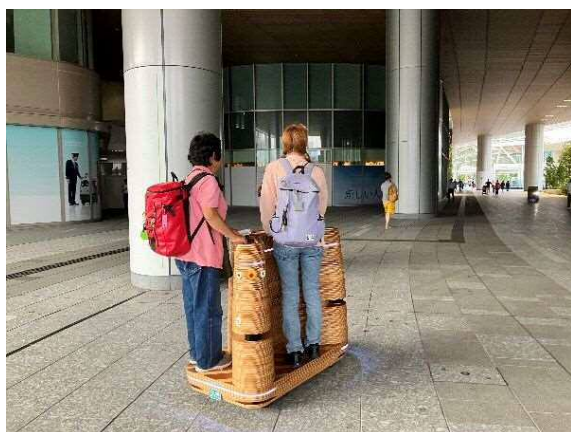
その後ゲートウェイパーク（駅前広場）、100 色の道、高輪リンクラインをお散歩しました。最後は TGC のグランドオープンから先の未来を圧巻の映像とストーリーで体験できる未来体験シアターを鑑賞しました（現在は終了しています）。



【説明を聞く参加者】



【150 年前に「高輪築堤」を
走っていた蒸気機関車を再現できる
AR コンテンツを体験】



【自動走行モビリティを体験】



【THE LINKPILLAR にて
TGC 未来体験シアターを鑑賞】

意見交換会

日時：2025年6月27日（金） 19：00～21：00

場所：アウトバックステーキハウス（品川高輪店）

出席：正会員 47 名

オプションツアーの後は品川駅に戻り、駅近くのお店にて懇親会が開かれました。全国から集まった会員同士が久しぶりの再会や初対面のあいさつを交わし、おいしいごはんを囲みながら会場のあちこちで話に花が咲きました。

各支部長からの支部紹介では座席から応援の声もあがり和気あいあいと大いに盛り上がりました。



【懇親会の様子】

ランチ会

日時：2025年6月28日（土） 12：00～13：00

場所：きゅりあん（品川区立総合区民会館）6階 大会議室

出席：正会員 49 名

総会終了後、初の試みとしてランチ会を開催しました。これは、前日の関連イベントに参加できない方々にも交流の場があったらいいな、という思いから企画したものです。

全国から集まった会員同士が親睦を深め、地域を超えたネットワークづくりと情報交換の場となりました。



【ランチ会の様子】

総会・関連行事 参加者の感想

回答数:計 31 名

報告者:高橋典子(九州支部)

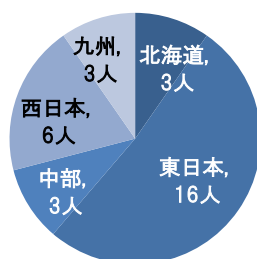
1. 関連行事の満足度について(25 回答)



2. 総会の満足度について(26 回答)



3. 回答者(31 名)の所属部署



4. 関連行事感想

● 石井めぐみさん

高輪ゲートウェイ駅の開通の日に観に行く予定でしたが、コロナ禍で飛行機が欠航となりそれからずっと行けずじまいだったため今回の訪問を心待ちにしていました。集合場所であった駅もさることながら送り出しの桁上に乗せていただいたり650トンクレーンを間近に見ることができたり大満足でした。また、地味に感動したのは現場のトイレにエアコンがついていたこと! 熱中症などで具合が悪くなった時に事務所まで階段を登るのが困難なこともあるため休めるようにしてるようです。

● 植田文子さん

現場見学会では、跨線橋の架け替えでの限られた空間での施工や夜間短時間でのトラスの送り出し、リスクマネジメントのための段取りの検討など、早朝から本当に深夜まで電車が動いているなかでのプロジェクトについて、見学とお話をお聞きすることができ、貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。高輪ゲートウェイシティを歩く時間も作っていただき、良かったです。自動運転で動いてる乗り物、乗り損ねてしまったのが心残りです笑

● 古谷祥恵さん

2つの送出し仮設の特徴が比較できてよかった。高輪ゲートウェイは、「お散歩」と題しているが内容は十分見ごたえのある内容だった。

● 高野日彩さん

品川駅の現場見学で、施工中の鉄道橋を実際に見せていただくことができ、良い経験になりました。仕事の内容とは異なるので少し難しかったですが、さまざまなことを学びました。

現場見学後の懇親会では、さまざまな年代の女性技術者の方と交流することができ、たくさんのことを学びました。

● 久保朱里さん

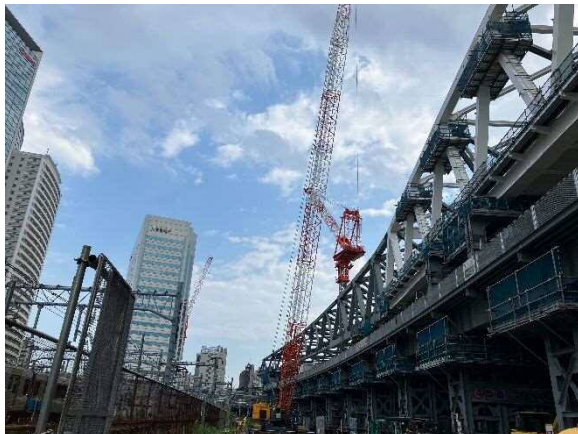
総会関連行事現場見学会は、東京のなかでもかなりの大規模かつ注目度の高い開発事業の現場を見学させていただくことができ、たいへん勉強になりました。



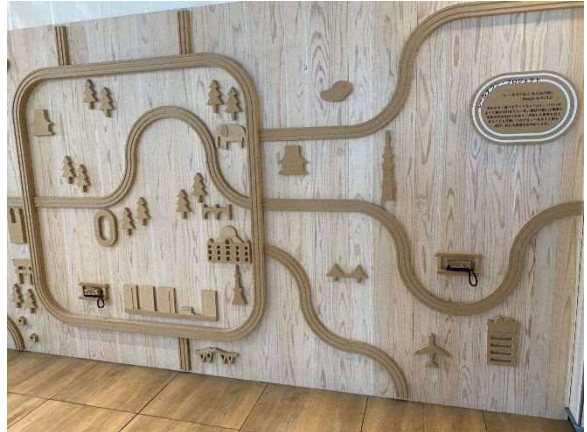
自分の技術者としての人生のなかで今回の見学は財産になると感じました。工事に直接関わっている方々のお話も見学中などに伺えてうれしかったです。

懇親会、ランチ会は、どちらもお食事がとてもおいしかったです。会員の皆さんと仕事面、プライベート面でもたくさんのお話ができ非常に楽しい時間でした。

京急ハツ山こ線々路橋架け替えの現場です。グレーのトラスはすべて仮設とのことが驚きました。



高輪ゲートウェイ駅のアートウォールです。高輪ゲートウェイ駅に初めて降りました。近代的で、木がたくさん使われており、あたたかみのある素敵な駅だと感じました。



● 岩熊まきさん

6月27日の見学会。見学会の企画と運営はたいへん力がいらいます。幹部の方のご尽力に感謝します。リタイアした私は物見遊山で参加しましたが、自宅近くの高輪 G 駅周辺の開発は構想公表時から、住民説明会にも参加して説明を聞いてきました。偶然とはいえ便利な場所に住むことになり、ゲートウェイシティの生活には期待しています。国際的な場、植栽や壁面緑化、ビオトープなど、まだ完成までに時間が必要ですが、これから何ができるのか、本当に楽しみです。一方、品川駅もゴロゴロと歩く人が急に多くなり、構造的と人流に危険が多いので、一日も早く、高輪 G だけでなく品川と合わせて全体の完成を楽しみにしています。

● 内屋祐貴子さん

都会の大規模現場を見ることができて嬉しいです。貴重な機会をありがとうございました。一緒に参加した方たちとも仲良くなれて楽しかったです。

● 千崎 芳さん

高輪ゲートウェイ周辺の長い将来を見据えた開発、ご苦労・工夫が随所に見て取れ、たいへん勉強になりました。見学にあたっての企画、準備、熱中症対策など、たいへんありがとうございました。

● 屋代瑞希さん

JR 品川駅改良の現場見学は想定以上の規模の現場かつ多くの工種を現場の苦労話なども含めて案内して頂き、たいへん充実した時間でした。

足場を上り切ったトラスの上で



● おりさん

普段立ち入ることのできない駅工事の裏側に入れて、大規模工事の見所や苦労された話などが聞けてたいへん貴重な時間を過ごすことができました。特に JR さんならではの耐震基準をクリアするための工夫は新たな視点を得られたように感じます。お忙しい中調整いただきありがとうございました。

● 佐藤厚子さん

暑かったのですが、たいへん興味深い内容でした。久しぶりに参加して良かったと思いました。

● 南 朋恵さん

盛りだくさんで満足の内容でした。街ができていく感じが、未来を創っていくように感じられました。

現場見学風景



会員よりも大きいカラーコーン!



● 福島未玖さん

大規模現場を見学させていただき、スケールの大きさに驚き勉強になりました。次イベントへの導線も、東日本支部のみなさまのおかげでスムーズに動くことができ、猛暑でも楽しく1日を過ごすことができました。ありがとうございました。

● 山口和美さん

品川駅周辺開発の見学は、普段見ることのできないような現場で、とても有意義なものとなりました。説明をしてくださったJRの方たちの説明もわかりやすく、体調にも気を使っていたいただき、ありがたく思いました。泊まったホテルの部屋の真ん前が、ハツ山跨線橋の架け替え工事で、偶然にびっくりしました。とても良い思い出です。



トラスの中に、歪み防止の仮設の鋼材があり、とても美しかったです

● 鈴木美和さん

橋梁架設の現場を見学できたことが、一番印象的でした。普段、あんなに大規模な現場には行かないので、興味深かったです。

懇親会では、働く女性同士、仕事での悩みなど、いろいろと相談でき、貴重な意見交換ができました。

● 藤本友里さん

ここまで規模の大きな現場を見る機会が今までなかったのも、スケールの大きさに驚きました。工事がもう少し進んだ数年後にまた見学できる機会があればぜひ参加したいと思います。高輪ゲートウェイ駅の開発工事とても勉強になりました。

● 坂本祥子さん

跨線橋の上など、普段絶対に入れない場所を見学できて、楽しかったです。

現場見学風景



● ごとこさん

懇親会に参加しました。皆さんとたくさんお話ができて嬉しかったです。また、お料理がたくさんあってびっくりしました。

● 未来の中に土木あり さん

品川の現場は広大でした。一つの街をゼロから新しくつくるって、こういうことなんだなあー、土木ってスゴイなあ！と改めて感激しました。大都会の真ん中で四方はビル、左右に線路、地下と地上と人工地盤と高層階とで複数のプロジェクトが同時進行する現場はほかにはありません。貴重な現場を拝見できて幸せでした。ありがとうございました。



高輪ゲートウェイシティを一望できる部屋で、まちの模型を見つついろいろなお話をお聞きました。

● 沼田直子さん

お天気に恵まれ、よい見学会となりました。JRの皆さんが総力を挙げて現場を案内してくださり、たいへん感動しました。同行した会員からは、JRの皆さんが私たちが女性であることを特別視せず、自然に接していただいていることに驚いたと聞いています。開業した際には、またぐると歩いてみたいです

● A.M さん

大規模プロジェクトの現場を見学させていただける機会はありませんので、貴重な機会になりました。首都圏に住んでいるため、見学させていただいた場所が完成したときにも訪れてみたいと思いました。

● 織裳幸子さん

初めて参加しました。大規模な現場に感心するとともに、現場の案内してくれた男性の方々が、私たち女性の団体を当たり前のように自然に工事現場に受け入れてくれている、そんな空気感を感じ、とても心地良かったです。こんな世界があるのだなあ〜と感動しました。

● 笹岡里衣さん

懇親会のための参加でしたが、たくさんの会員と懇親ができて良かったです。今回のようにそれなりの参加者数がある場合には立食式でも良いなと思いました（もっと多くの会員と話せよう）。

会場へのアクセスも良く、たいへん助かりました。

● 小林千佳さん

主催者側でした。複雑な工事で現場も複数あり参加者にわかりにくいのではと心配でした。もう少し質問が活発に出れば良かったです。都心のご真ん中であのような空間かつ大規模な現場はそうそうないので詳細不明な点があれば参加者にはある程度ご満足いただけたのでは。熱中症の方が出ずによかったです。

その後の高輪GWC街歩きでも未来の都市を俯瞰することができて両方のイベントの相乗効果があったのではないのでしょうか。暑かったのですが、たいへん興味深い内容でした。久しぶりに参加して良かったと思いました。

5. 総会感想

山口和美さん

初めての参加でしたが、事業などについて、丁寧に説明をいただき、全国でいろいろなことに取り組まれていることがよくわかりました。また、なかなかお会いできない遠い支部の方々にも会うことができ、嬉しかったです。各地のお土産の交換も、女性の会ならではのと思いました。

前川利枝さん

たいへん充実した総会をありがとうございました。議事はもちろん、各支部の活動状況をたくさん聞くことができたことも良かったです。ランチ会も楽しむことができました。お忙しい中、準備などに感謝申し上げます。

沼田直子さん

ちょうどよい大きさの部屋で、心地よく過ごせた。会場も駅から近く、迷わずにたどりつけた。次回の東日本支部の総会でも利用したい。

岩熊まきさん

皆さんが役割をきちんと踏まえて運営されていました。多人数での会議や見学会は計画や調整が重要で、よい学習機会になります。普段から素晴らしい会の運営をされていると思います。昔のメンバーとして、発展させていきたいと思っている皆さんにお礼を言います。

植田文子さん

オンラインではお会いしていますが、なかなか実際にはお会いできない他支部の方たちと直接お会いしてお話することができ、嬉しかったです。他支部の活動をいろいろと知ることができ、そして、悩みごとを聞いてもらうこともでき、今後の支部活動に活かしていきたいと思います。

ランチ会の企画もありがとうございました！

青木治子さん

前日の関連イベントに参加できず、総会だけではみなさまと話ができないかな、と寂しく思っていました。総会後のランチ会で初めてお会いする方とも話すことができました！ありがとうございます！

ランチ会のお弁当



川瀬 瞳さん

総会の準備から運営まで、たいへんお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。来年は中部支部開催のため、参考にさせていただきます。総会が滞りなく終わられて良かったと思います。司会の方の話し方が上手くて、「上手いな～」とひたすらそればかり思っていました。途中ちょっとした言い間違いがあっても臨機応変に対応されて、素晴らしかったです。天野さんのお話が聞けたことも良かったです。もっとお話をお聞きしたかったです。ずっと聞いていられそうです。私は総会からの参加でしたので、ランチタイムを設けてもらえたのは、ラッキーでした。会員との交流の場ができ、情報交換から雑談まで楽しいひとときを過ごせました。良いエネルギーチャージができたので、「明日からも頑張ろう！」という、活力になりました。

● 鈴木優華さん

所属1年目、はじめて総会に参加させていただきました。全国各地から会員の方がいらっしゃるとは知らず、ランチ会ではいろいろな地域、職種の方と交流でき、とても楽しかったです(^^)!

● 石井めぐみさん

総会のやらなきゃいけないものをサクッと終わらせて、それぞれの支部やワーキングの活動についてゆっくり聞くことができたのがとても良かったです♪

● 未来の中に土木ありさん

駅直結の会場が何よりもありがたかったです。東日本支部の入念な準備により、滞りなく総会を終えることができました。ありがとうございました。



● 古谷祥恵さん

円滑に議事が進行してよかった。議事の内容・量によるが、支部の活動紹介は、今後参加者を増やすために十分時間を持ってもよいのではないかと感じた。

● 久保朱里さん

いつも非常にわかりやすい総会資料で、ご説明も簡潔なため、議案についてとても理解できました。支部活動の活動報告や活動計画につ

いて、毎年お聞きするのを楽しみにしています。今回も今年度の活動について、興味のあるものがたくさんあったため、都合がつくものにはぜひ参加してみたいと思いました。

天野さんのお話をお聞きするのは2回目でした。お祝い会場ではありましたが、こちらも励みになるお話を聞かせていただき、とても勇気をいただきました。

● 坂本祥子さん

同業女性に囲まれる、数少ない場で、みなさまからパワーをいただきました。

● 南 朋恵さん

各支部の活動紹介がよかったので、今度は写真なども混じえて紹介してほしい!

● 本田さん

会場は駅に近く、とてもわかりやすい場所で良かったです。

ランチ会も皆さん楽しまれていたので、良い企画だと思いました。

● 笹岡里衣さん

会場へのアクセス、設備ともに良かったです。開会時間もちょうどよかったと思います。

● 福島未玖さん

スムーズな司会運行の中、各支部の活動を聞くことができたへん満足しております。

● 笹尾圭哉子さん

運営側の事前の準備や参加者の協力によって円滑に進められたと感じました。そのことによって時間を有効に使うことができ、各支部やワーキングの活動報告もじっくり聞くことができました。天野さんのお祝いやランチ会も良かったです。個人的には久しぶりにリアル参加ができ、

古くからの会員のみなさまとも短いながら交流の時間が持ててとても良かったです。

● ごとこさん

緊張の一言につきます。無事に終了して良かったです。

● A.Mさん

天野さんのお話を直接お聞きできたのが良かったです。自分の専門性を構築していく上で継続することの大切さを再確認する時間になりました。一つ一つのことに一生懸命に取り組み自分のキャリアを築いていきたいと思いました。

● 屋代瑞希さん

支部スタッフとして総会が滞りなく開催されることを願って準備をしていたため、大きな問題なく終了できたこと本当に良かったです。前回の東日本支部総会の際もスタッフでしたが、終えたときの達成感がありました。また全国各地からのお土産が並ぶテーブル、今年も沢山で皆さんありがとうございました！

● 小林千佳さん

前回東日本支部主催の際、せっかく年に一度全国の会員が集まるのだから進行などは極力スリムにして会員の交流や活動の情報交換をメインとしたいと考えました。それがいろいろな工夫（採決、支部長報告、ランチ会）によりほぼ実現できたと感じています。支部長の熱意のお陰です。

6. その他感想

● 植田文子さん

東日本支部のみなさま、企画準備から当日まで、お世話になりました。ありがとうございます。現場見学会も凄すぎて、かなりプレッシャーでは

ありますが、3年後の九州支部開催の際は、九州支部なりのものを温かく受け入れてもらえればと思います笑 お疲れ様でした。

● 内屋祐貴子さん

今回初参加でしたが、また参加したいと思いました！

● 千崎 芳さん

名前カードの裏にスケジュールや QR コードなど、ちょっと見たいものが埋め込まれていて、お気遣いが感じられました。ありがとうございました。

● 笹岡里衣さん

理事・運営員・東日本スタッフのみなさま、ありがとうございました。今回、ランチ会企画がありましたが、次回以降も企画してもらいたいです。

● 笹尾圭哉子さん

限られた時間で交流を図ることができて良かったです。

● 鈴木美和さん

東日本支部役員の方々をはじめ、準備、運営をしていただいたみなさま、お疲れ様でした。

● A.Mさん

総会後のランチ会が総会参加のきっかけにもなり、良いなと思いました。企画いただきありがとうございました。

● 小林千佳さん

運営委員と支部スタッフがみごとに連携して理想の総会となったと思います。事務局長はじめ、みなさま本当にお疲れさまでした。

新任運営委員のご紹介

今年度、就任された皆さんをご紹介します。



東日本支部長就任 にあたって

沼田直子
(東日本支部)



このたび、前任の中田さんから東日本支部長を引き継ぎました、茨城県職員の沼田直子です。私がこの会のスタッフとなったきっかけは、コロナ禍のさなかに須田久美子さんからお声がけいただき、茨城県でリコチャレ(理工チャレンジ)を担当したことでした。あれから今年で5年目となり、毎年少しずつ改良を重ねることで、運営も参加者の笑顔もいっそう充実してきたと感じています。

土木技術者女性の会の魅力は、人生経験豊かな先輩と若いスタッフが世代を超えて和気あいあいと活動できることだと思います。私はこの会を通じて、土木技術者としての知識や経験のみならず、前向きで自然な女性の活躍の姿勢を学びました。なかでも印象深いのは、2024年に土木学会インフラメンテナンスシンポジウムでリコチャレの取り組みが評価され、「インフラメンテナンスチャレンジ賞」を受賞したことです。また、レポート発表においても優秀講演賞をいただくことができ、多くの方に喜んでいただき、会に貢献できた喜びは今後の大きな励みとなりました。

現在は、会での活動経験を活かして職場でD&I(ダイバーシティ&インクルージョン)を推進する「イバラキなでしこ活動」を始めたところです。多様な立場や考え方を尊重しながら、一人ひとりが力を発揮できる環境づくりに挑戦しています。東日本支部は多様な分野・地域で活躍する会員が集う活気ある支部です。みなさまか

らのご意見や知恵をいただきながら、今後も活動をさらに盛り上げてまいります。どうぞ変わらぬご支援とご指導をよろしくお願いいたします。

趣味はリコーダー演奏で、アンサンブルにも参加しています。仕事では主に道路行政を担当し、茨城県内において安全で快適な暮らしを支える業務に携わっています。家族は夫と高校生の子ども二人で、家族の協力に支えられながら公私ともに充実した毎日を送っています。



CE 改編ワーキング リーダー就任にあ たって

深瀬尚子
(西日本支部)



このたび、会が発行する就職支援冊子『Civil Engineer への扉』(略して CE)の改編を行うこととなりました。この冊子は主に学生をターゲットとしていることから、当会のなかでもできるだけ学生の年代に近い会員にお声がけし、若手が中心となって編集作業を進めることにしています。今の価値観から生まれる新しいCEにご期待ください。

さて、私は2024年の夏に鉄道会社から建設コンサルタントへ出向しました。今までは鉄道建設のプロジェクトを計画したり、工事を実施する中で「全体を把握して、仕切る」のが主な役割でしたが、現在は地域の公共交通の現状調査や将来計画が主な業務内容となっています。仕事の内容がガラリと変わりました。出向とはいえ、同じグループ会社なんですけど・・・それでも日々の行動や心境、頭の使い方、身体的な疲れ具合がこんなに変わるのか!と正直驚いています。

と同時に、CEを学生が読み、これを参考に自分の就職先を考えるとすると・・・こりゃ責任重大だわ!! と、改めて思いました。

新しいCEの発行は 2027 年度を予定しています。執筆など、皆さんに協力いただくこともたくさんあると思います、どうぞよろしくお願いいたします。



【京都・平安神宮にて】



監事就任にあたって

柏倉志乃

(東日本支部)



このたび、監事を拝命しました柏倉(かしわくら)と申します。仕事では、土木の人財開発を担当しています。監事ってどんなお仕事をするのかしら? とマニュアルを見てみると、

・理事および理事会の業務執行に関し問題がないかチェックして報告すること

・問題があった場合には指摘してそれを止めること

とありました。責任重大ではないですか!!

問題など起こりそうにない気もしますが、自分の職務をしっかり果たしていきたいと思います。私は初めての監事ですが、もう一人の監事として、尊敬する笹尾さんがいらっしゃることは大変心強いです。今後、積極的に会の活動に参加するとともに、規則などについての勉強も進めてまいりたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

メディア掲載

会のウェブサイトには最新情報を掲載しています。

<https://www.womencivilengineers.com/related-article>

サポーターおよび新規会員募集

一般社団法人土木技術者女性の会では、当会の活動をさらにパワーアップするため、私たちの理念に賛同し、継続して活動を応援して下さる「サポーター」を広く募集いたします。みなさまのご支援をどうぞよろしくお願いいたします!

<https://www.womencivilengineers.com/admission/membership-type>

寄附制度のご案内

土木技術者女性の会は、土木学会誌(1982年9月号)に掲載された「座談会:女性土木技術者おおいに語る」がきっかけで1983年1月に発足しました。任意団体として30年の長きにわたり活動をし、2013年11月18日(土木の日)に一般社団法人 土木技術者女性の会として新たなスタートを切りました。全国規模での総会、見学会やセミナー、シンポジウムや支部による活動などを通じて、女性土木技術者、将来の女性土木技術者に対して幅広い年齢層のロールモデル提供の場、指導者育成の場、キャリア継続支援の場を提供しています。

つきましては、当会の社会貢献活動への取組みをご理解いただき、ぜひ、一般社団法人 土木技術者女性の会への御寄附をお願い申し上げます。

<https://www.womencivilengineers.com/donation/guidance>

運営委員 退任によせて

東日本支部長を退任される中田宏美さん、監事を退任される佐藤厚子さんよりメッセージをいただいております。ご尽力に心より感謝申し上げます。



楽しい 3 年間、本当に
ありがとうございます
しました



中田宏美
(東日本支部)

このたび、第 13 回総会をもちまして、東日本支部長および運営委員を退任いたしました。2022 年から 3 年間、支部長として支部運営を滞りなく進められたのは、東日本支部スタッフのみなさま、理事・運営委員のみなさま、そして温かく見守ってくださった支部会員のみなさまのおかげであり、心より感謝いたします。

前任の小林さんがパワフルに支部を牽引される姿をスタッフとして見ていたため、支部長就任当時は「私に務まるのだろうか」という不安でいっぱいでした。しかし、スタッフのみなさまのご協力のおかげで、支部運営を分担制とし、各イベントにリーダーを設けるスタイルで、小林さんのパワフルさに近づけるよう努めてまいりました。北原理事から「中田さんは鵜匠のようにイベントリーダーの皆さんをうまくまとめていけばよい」とのアドバイスをいただいたことが、大変印象に残っております。イベント開催を Web からリアルに移行する過渡期で至らない点多々あったかと思いますが、みなさまのおかげで支部運営が滞りなくできたことに深く感謝しております。忙しく大変な 3 年間でしたが、それを上回るほど楽しく充実した 3 年間でした。この 3 年間にはさまざまな思い出があります。特に印象深いのは、5 年ぶりに開催した福島第一原発の視察です。ま

た、コロナ禍にオンライン開催からスタートした茨城県で開催している「橋のインフラメンテナンスのリコチャレ」がリアル開催となり、昨年度インフラメンテナンス・チャレンジ賞を受賞できたことは、須田運営委員、沼田支部長をはじめとするスタッフのみなさま、そして共催・関係団体のみなさまのご協力なくしては成し得ませんでした。心より感謝いたします。今後は沼田支部長をサポートしながら、東日本支部をさらに盛り上げていきたいと考えております。

3 年間、本当にありがとうございました。



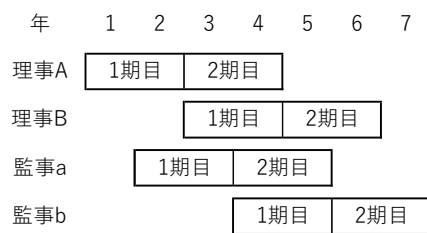
監事 退任によせて



佐藤厚子
(北海道支部)

今回の総会をもって監事を退任いたしました。2017 年 6 月の総会(中部支部)から監事になったという記録があります。当時の牛山弘子会長から、やるようにという命があったことを記憶しています(記憶違いでしたらごめんなさい)。図 1 の役員の任期のイメージに示しますように、監事は二人なので、交代交代で 2 年 2 期 4 年、理事と一緒に交代すると会の様子がわからなくなるから、理事とは異なった時期に交代するという説明がありました。これまで長い間お世話になってきた土木技術者女性の会に対して、「私でも役に立つことができる!」などと勝手に舞い上がっていたことと、直接対面でお話があったこと

などから、その場で「すぐに引き受けます」と返事しました。



【図 1 役員の任期のイメージ】

これまで機会があり、いろいろな場面で監事的なことを経験しました。まず初めは、40 年くらい前、労働組合が盛んなころに職場の会計監査なるものをやってみました。これはお小遣い帳と領収書のチェックなので楽ちんでした。その後小学校 PTA の会計監査をしました。このときはなんだか変で、講習会を頼んだ先生からの領収書がなかったので、提出を求めたところ、先生に領収書を出してもらおうなどという失礼なことではできないと言われました。とっても不思議な考え方だと思いました。誰もそれに対して疑問がないようでした。次の年から会計監査を解雇されました。けっこうモヤモヤしました。

その後、高校の PTA の監事的なことをしました。このときは監事的だったので、活動内容と費用の使い道についてチェックしました。学校行事で担当の先生が引率する費用を PTA から支出していたので、これを質問したところ、市立高校として認められている行事ではないので、費用は、PTA から支払っているという回答でした。けっこう納得していたのですが、やはり次回には解雇されました。

そのあとに私たちの会から、監事のお話がありました。できるよねって自分で思い、気楽に承りました。承ってすぐに「監事の手引き」なるものが事務局から送られてきました。えーっこんなに勉強しなくちゃいけないの？ って思いました。監事 1 年目は、監事の先輩であった三好葉子さん（西日本支部）の丁寧な仕事の様子を感じ、私はお金に関する監査よりもどちらかというと活動

内容に関する監査を重点的にチェックしました。なお、この役割につきましては二人で相談して決めたことではありません。そもそもそんな話し合いはしていません。三好さんはこれまでの長いお付き合いのなかで、きっと監査のような難しい仕事も十分にこなすことができる人だろうと勝手に思っていたことと、引き受けてから私には本当に適していない仕事であることを実感したことから、そのようにしてしまいました（三好葉子さん、ごめんなさい）。

監事は 4 年で任期終了と思っていましたが、いろいろとあったため、なかなか交代ができず、時期が来たとき三好葉子さんの方が先でしたので、結局 8 年間監事に居座っていました。三好さんも 8 年くらい監事であったかと思います。本当にお疲れ様でした。

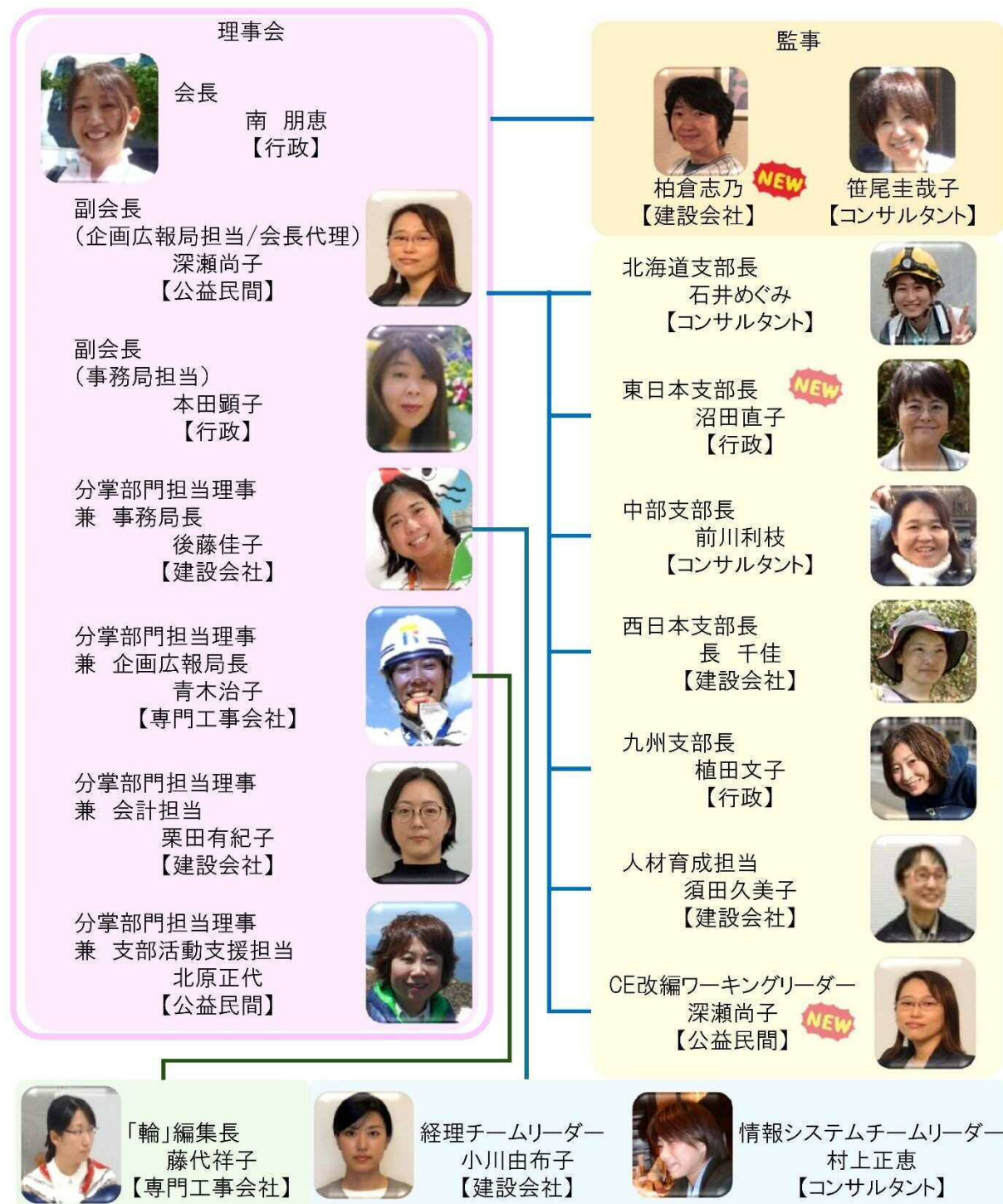
こんな作業しかしていない監事のなかで気がついたことは、今まで関わってきた大小さまざまな団体と比べて、活動の計画、内容、事務処理、お金の使い方などなど、土木技術者女性の会はとっても真面目です。筋さえ通っているのであれば、もうちょっと柔軟でもいいのではとも思いました。でもこの真面目さと正直さが土木技術者女性の会の良いところかもしれません。

良い経験ができました。大変ありがとうございました。

(一社)土木技術者女性の会 組織図 2025



2025年度の運営委員をご紹介します。当会の運営は、このほかにも各組織・各支部に多くの有志によるスタッフが所属し、支えられています。スタッフは随時募集していますので、興味のある方は所属する支部の支部長までご連絡ください。



□ : 理事
 【●●】 : 勤務先業種

★祝★ 天野玲子顧問「土木学会名誉会員」の称号を授与されました

2024年6月、当会の顧問である天野玲子さんに、土木学会名誉会員※の称号が授与されました。長年にわたる公益社団法人 土木学会での功績が認められたものです。

総会后、名誉会員就任を祝い、南 朋恵会長からの花束贈呈が行われました。

※土木学会名誉会員とは、10年以上フェロー会員であり、土木学会の発展に対する貢献が特に顕著な会員等に贈られる称号です。

【天野顧問の紹介】

天野さんは当会の創立のきっかけとなった 1982 年の土木学会誌の座談会に参加し、会設立に尽力されたメンバーのおひとりです。

会の役職としては、1983 年度から関東地区世話役、以降、副会長、事務局長、会計監査を務められ、2021 年度からは顧問を務めておられます。

ご経歴は、鹿島建設株式会社に入社されてから、2014 年に定年退職。以降、国立の研究所の監事、電鉄会社や橋梁会社、銀行の社外取締役など、数々の役職に就任されています。また、全日本柔道連盟や日本ラグビーフットボール協会の理事など、さまざまな団体で精力的に活動されています。そして、数えきれないほど女性第 1 号の称号をお持ちです。

入社から 60 歳まで

従事時期	社内における主な担当業務	社内等での役職	会での役職
'80年	鹿島建設株式会社に入社 ※女性土木技術者第 1 号		'83 年～'85 年 関東地区世話役
'92年	土木設計本部	設計主査	副会長
'95年	技術研究所	主任研究員	
'97年	休職(夫の海外勤務(インドネシア)に帯同)		
'98年	技術研究所に復職	主任研究員	事務局長
'01年	土木技術本部に所属、土木管理本部へ ※'04 年～'07 年東京大学生産技術研究所客員教授を兼務	課長	
'05年	//	担当部長	会計監査
'11年	知的財産部に所属	部長	
'14年	1 月に定年を迎え、9 月に鹿島建設を退職 ⇒次のステップへ	専任役	

■数々の第一号経歴(パイオニア)

- ◇ 東京大学工学部土木工学科
女性卒業生 第 1 号
- ◇ 日本におけるゼネコン女性総合職第 1 号
- ◇ 鹿島建設(株)における
出産後に職場復帰した女性社員 1 号
社内外問わず女性に関する第 1 号の称号は数知れず

■その他、現在までの主な活動

- ・日本学術会議 連携会員
- ・文部科学省
地震調査研究推進本部 政策委員会 委員
中央教育審議会 大学部会、大学院部会 委員
文部科学大臣表彰審査委員会 委員
- ・国土交通省
社会資本整備審議会 専門委員
中央建設工事紛争審査会 特別委員
- ・経済産業省 日本工業標準調査会 委員
- ・総務省 独立行政法人評価制度委員会 委員
消防研究センター 研究評価委員会 委員
- ・(公社)土木学会 理事
- ・(公社)地盤工学会 副会長
- ・(公社)日本工学会 理事
- ・(公社)日本工学アカデミー 理事
- ・京都大学 経営協議会 委員
- ・総合研究大学院大学 経営協議会 委員
- ・(公財)全日本柔道連盟 理事
- ・(公財)日本ラグビーフットボール協会 理事

60 歳から現在

従事時期	主な所属先	所属先での役職
'14.10～現在	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター	センター審議役、 審議役、 参与、 客員研究員
'15.4～'21.6	国立研究開発法人 国立環境研究所	監事
'16.6～'24.6	東日本旅客鉄道 株式会社	社外取締役
'19.9～現在	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	監事、 外部評価委員
'21.6～現在	株式会社 横河ブリッジホールディングス	社外取締役
'23.6～現在	株式会社 ゆうちょ銀行	社外取締役

【天野顧問 経歴のご紹介】

【天野顧問のコメント】

土木学会名誉会員授与へのお祝いをしていただきありがとうございました。

40 年以上の長い歴史を有する当会の成果には目覚ましいものがあり、その成果の一つが労働基準法「女性労働基準規則」のトンネル現場での女性技術者への労働規制改正がありますね。

当時の厚生労働省雇用均等・児童家庭局長だった北井久美子さんに飲み会でトンネル現場に女性技術者が入れないことを愚痴ったところ、早速動いていただき、そのアドバイスに従って会員のみなさまに事例収集や経済・業界団体への働きかけを行っていただきました。

最終的な関門は改正を認めるための産業医の選定でしたが、私自身何度か厚生労働省へ通って当時の石井敦子課長(現大東文化大学理事長)と選定作業を行ったことを懐かしく思い出します。

規制改正のための整備法は、北井局長により 2006 年 3 月 7 日に国会に提出され、6 月 15 日成立、6 月 21 日公布、2007 年 4 月 1 日施行となりました。

どうぞこれからも会員みなさまの益々のご活躍により社会をより良い方向へ動かして欲しいと思います。応援しています。

【南会長のコメント】

2015 年、天野玲子さんが防災科学技術研究所の審議役をされているとき、土木研究所で開催するパネルディスカッションへの登壇を依頼させていただきました。国の研究機関の審議役に女性技術者が就任し、さらに当会の会員であることを知っていましたので、当時、お目にかかることを楽しみにしていたことを今でも覚えています。

そして、女性土木技術者のパイオニアともいえる天野さんが、土木学会の名誉会員になられたというのは、会としても非常に名誉なことだと思っています。天野さん、おめでとうございます！



【花束贈呈 左：南 会長、右：天野顧問】

CE改編ワーキング はじめました！

当会を運営する組織の1つに「ワーキンググループ」があります。
ワーキンググループは他の委員会とは異なり、ある一定の目的のために期間限定で設置されます(土木技術者女性の会 一般規則第24条)。今回は「新しい Civil Engineer への扉(略して“CE”)」を編集するという目的で、約2年間の活動を予定している「CE 改編ワーキング」を新設しましたので、その内容をご説明します(深瀬)。



表 これまでの歩み

2024年 10月	【運営委員ミーティング】 (定期的に運営委員が集まるミーティング) ・ワーキング活動の素案を検討。メンバーは？活動期間は？予算は？など
2025年 3月	【理事会】 ・理事会の決議によりワーキングを設置、ワーキングリーダーを会長が任命
4月	・メンバーの選定について、各支部長と相談 ・CEが学生向けの就職支援冊子であることから、できるだけ若手の会員を選出
6月	【キックオフ会議】 ・リーダー、副リーダー、WGメンバー、そしてオブザーバー(前CEを編集した時のWGリーダー2名)で、顔合わせとスケジュールなどを共有 各支部から、若手メンバーが集まってくれました！！心強い！
<div data-bbox="355 1223 1299 1756" data-label="Image"> </div> <p>キックオフ会議(ZoomによるWeb会議)</p>	
	【総会】 ・6月28日の総会にて、改めて「CE 改編ワーキング」設置の報告がされ、総会後にワーキングの活動内容を簡単に説明しました。 (次のページから、その内容を紹介します)

1 CE 改編ワーキングの説明

CE改編ワーキングとは？



2017年版

『Civil Engineerへの扉』
の改編・発行を行うワーキングです。

『Civil Engineerへの扉』とは、

- ・土木技術者を目指す女性のための「就職支援冊子」
- ・土木界で活躍する会員のロールモデルを紹介
- ・既に就職している若手女性技術者の方にとっても、ロールモデルとして参考になる話がたくさん!!



2 Civil Engineer への扉の説明

CE改編ワーキングとは？

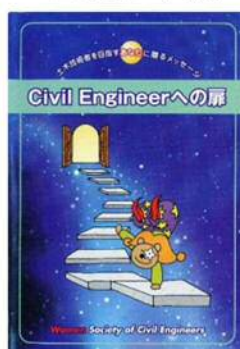


1999年から大体10年毎にリニューアル!

1999年版



2006年版



2017年版



2027年版



Civil Engineerへの扉
—土木技術者をめざすあなたに贈るメッセージ—
編集・発行:土木技術者女性の会

3 現在の最新 CE について

CEについて



『Civil Engineerへの扉』2017年版は土木技術者
女性の会Webサイトから電子ブックで閲覧可能



2017年版



スマホからでも
閲覧OK!



例えば...

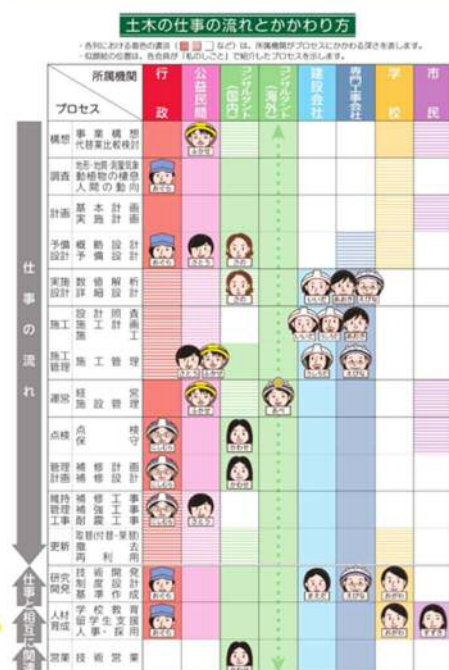
4 CEの構成について（特に“とある1日”は学生からも好評！）

CEについて



5 土木技術者としての職種は様々・・・

CEについて



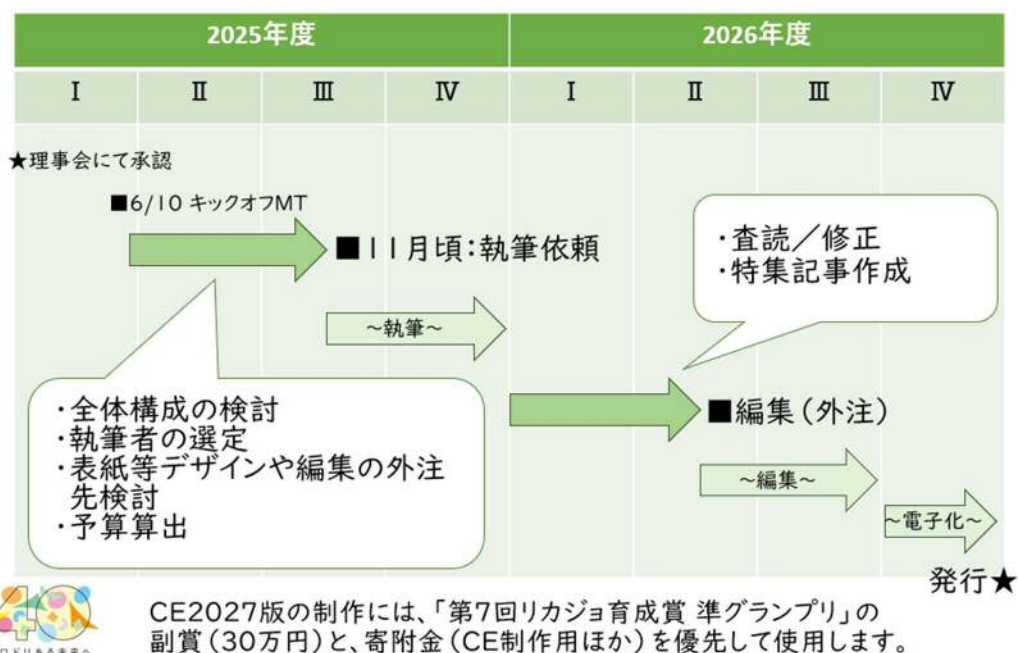
土木の仕事の流れと土木技術者のかかわり方

まちのアチコチに土木あり！



6 発行は 2027 年度を目標にしています！

ワーキング活動のスケジュール



<編集後記>



熱中症対策や名札裏に QR コード記載など東日本支部のみなさんの工夫もあり、充実した総会であったことが伝わります。新しい CE

への扉も楽しみですね!

☆福島香菜子 (北海道支部)



皆様の素敵な感想と熱気に触れ、次こそは参加したいと思いました。令和の CE への扉も楽しみにしております!

☆森瀬真琴 (中部支部)



原稿作成にご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。東日本支部での総会開催でしたが業務で参加できず残念でした。

☆熊本好美 (東日本支部)



東日本支部開催の総会・関連行事に初めて参加しました! レジエント会員の方にもお会いできて感動! また参加したいです!

お忙しい中、輪の原稿に携わってくださったみなさま、本当にありがとうございます!

☆高橋典子 (副編集長/九州支部)



総会関連行事がとても楽しそうで驚きました。来年度は皆様とリアルにお会いできる行事に積極的に参加したいと思います。

☆原 牧子 (東日本支部)

「輪」への投稿・ご意見は「輪」編集委員へ、
その他のお問い合わせ、ご意見は事務局まで、お願いします。

「輪」編集委員: rin@womencivilengineers.com

事務局: infoswce@womencivilengineers.com

【「輪」編集委員】

藤代祥子 (編集長/中部) / 福島香菜子 (北海道)

熊本好美 (東日本) / 原牧子 (東日本)

松田めぐみ (西日本) / 森瀬真琴 (西日本)

高橋典子 (副編集長/九州支部)

【事務局】

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷三丁目 1 番 9 号 矢沢ビル 4 階

TEL 050-3738-4975

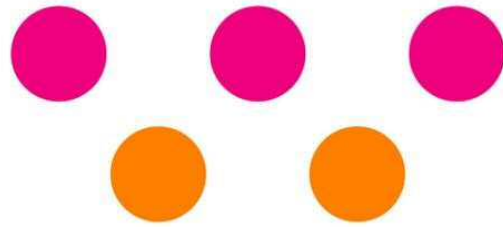
<https://www.womencivilengineers.com>

「輪」2025年度 秋号 (第78号)

2026年 1月13日発行

一般社団法人 土木技術者女性の会

The Society of Women Civil Engineers



The Society of
Women Civil Engineers

一般社団法人 土木技術者女性の会
「輪」 2025 年度 秋号 (第 78 号)